

のそみ

Public Relations Magazine NOZOMI

02 | 仙台七夕 花火祭特集

- 05 | 学生防災サミット 06 | しあわせな黄色いハンカチプロジェクト 2018
08 | 事業報告 11 | Welcome to Sendai プロジェクト 14 | キャンドルナイト 2018



彩り 笑顔が溢れる仙台へ



公益社団法人 仙台青年会議所
七夕花火祭特別委員会
特別委員長

遠藤 隼人

1970年に始まった仙台七夕花火祭は、仙台七夕まつりの前夜祭として始まり、仙台の夏の風物詩として毎年約45万人の人が訪れる、全国的にも珍しい都市中心部での打ち上げ花火として、地域の皆様の変わらぬご理解とご協力により開催されてきました。おかげ様をもちまして、仙台七夕花火祭は今年で49回目を迎えることとなりました。七夕花火祭特別委員会では第49回仙台七夕花火祭の成功に向けて日々活動しております。

今年は仙台の夏の夜を市民の皆様の笑顔で彩るために「彩り笑顔が溢れる仙台へ」をテーマに8月5日(日)に第49回仙台七夕花火祭を実施いたします。また、事前の準備や募金活動、当日の運営や設営、翌日のクリーン作戦を行うにあたり、ボランティアでお手伝いをしていただける市民パートナーの皆様のご協力が必要不可欠となっております。皆様のご協力の一つひとつが仙台の夜空に彩りを

加えることとなります。昨今の都市開発等の影響で、この仙台七夕花火祭を取り巻く環境も開催初期の頃から比べると大きく変化しておりますが、本年も安心・安全でクリーンな仙台七夕花火祭を市民の皆様と創りあげていきます。

また、今年をはじめでの試みとして仙台七夕花火祭のLINE@の開設、スマホ特化型広告を利用し、当日の交通規制情報や一般協賛席の空き状況などの情報をリアルタイムで発信いたします。フェイスブックやツイッターなどのSNSと連動して、ここでしか得られない情報も随時



発信してまいりますので、是非こちらもチェックしていただきたいと思います。

仙台市民の皆様より親しまれ続け、今まで連綿と受け継いできた歴史ある仙台七夕花火祭を本年も安心・安全を最優先として開催し、当日は約16000発の打ち上げ花火が仙台の真夏の夜空を彩ります。仙台七夕花火祭を毎年楽しみにしていただいている全ての方が喜びに包まれた花火を打ち上げるために、仙台を明るくするという第1回当初の想いを忘れずに、8月5日(日)に向けて今後も活動して参ります。仙台JCをはじめ市民、行政、パートナー、協賛企業の皆様がこれまで以上に一致団結し、仙台七夕花火祭を皆様と共に創りあげていきたいと思っておりますので、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。



花火祭の歴史

今年で第49回目を迎える仙台七夕花火祭ですが、始まりは1970年(昭和45年)に七夕まつりの前夜祭「ぼくとわたしのお祭り広場」として開催され、年々規模を拡大し、現在では45万人もの観客を動員するまでの規模に拡大いたしました。

また、市街地で幹線道路を封鎖し、これだけの規模の花火を打ち上げる例は全国的に見ても珍しく、類を見ない花火大会となっております。そのような仙台七夕花火祭の歴史を振り返り、仙台JICで最大の事業であり、メンバー一同が主催者であるということを再認識することでより安心・安全でクリーンな花火祭の開催に繋がると考えております。



第1回1970年(昭和45年)

◆ 打ち上げ発数…300発

◆ 観客数…資料なし

仙台JICが仙台七夕の前夜祭として、時代を担う子どもたちを対象とした「ぼくとわたしのお祭り広場」として開催された花火大会が、仙台七夕花火祭の始まり。花火を打ち上げようという企画は会議の席ではなく、蔵王の山小屋で生まれたという秘話もある。

第7回1976年(昭和51年)

◆ 打ち上げ発数…600発

◆ 観客数…3万人

この年から打ち上げ場所は旧仙台商業高校グラウンドになり、以後2013年まで仲ノ瀬橋付近での打ち上げになる。

第12回1981年(昭和56年)

◆ 打ち上げ発数…1600発

◆ 観客数…15万人

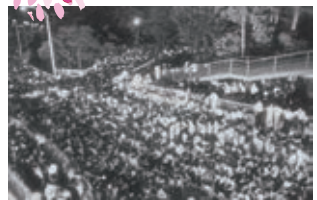


第18回1987年(昭和62年)

◆ 打ち上げ発数…4600発

◆ 観客数…34万人

この年にお祭りの名称を「仙台七夕前夜祭」から「仙台七夕花火祭」に改名。



第28回1997年(平成9年)

◆ 打ち上げ発数…12000発

◆ 観客数…45万人

第30回1999年(平成11年)



◆ 打ち上げ発数…12000発

◆ 観客数…55万人

第37回2006年(平成18年)

◆ 打ち上げ発数…15000発

◆ 観客数…55万人

打ち上げ発数が前年より3000発多い15000発となり、仙台の夏の夜空

に大輪の花を咲かせた。



第42回2011年(平成23年)

◆ 打ち上げ発数…16000発

◆ 観客数45万人

3月11日に東日本大震災が発生。一時は開催も危ぶまれたが、「絆」の想いを込め、東日本大震災を乗り越える復興のシンボルとして開催された。

第45回2014年(平成26年)

◆ 打ち上げ発数…16000発

◆ 観客数45万人

打ち上げ場所が現在の東北大学百周年記念会館(川内萩ホール)敷地内へと変更される。

第47回2016年(平成28年)

◆ 打ち上げ発数…16000発

◆ 観客数50万人

地下鉄東西線開通後、初の七夕花火祭。

第49回2018年(平成30年)

今年も打ち上げ発数16000発の大輪の花が咲く。



15万人の大歓声



夏の七夕祭典花火大会

仙台七夕花火祭 パートナーを 募集しています。

彩り
笑

毎年多くの市民の皆様、仙台の夜空を彩る風物詩としてお楽しみいただいております「仙台七夕花火祭」も、今年で49回目を迎える運びとなり、皆様とともに開催するため本年度のテーマを「彩り～笑顔が溢れる仙台へ～」といたしました。私たちは仙台七夕花火祭とともに創りあげていくパートナーを募集しています。

パートナー
経験者体験
レポート



真田さん (東北学院大学 文学部3年生)

大人の方々と一緒に活動できたのが印象に残っています。花火を裏方として支える方々がいないと成功はないと改めて思いました。大学生はグループのリーダーになったりやりがいのある仕事ができます。就職活動前の学生や、学校生活以外の活動をしてみたい方は一緒に活動しましょう。



青陵中等教育学校の皆さん

色々な年代の方と活動する中で仲良くなり友達が増えました。中高生も多く参加していたこと、任される仕事がとてもやりがいがあり、イベントに貢献している実感がとてもあり、またやりたいと思いました。学校以外での地域社会でのボランティア活動の重要性を学ぶことができ、誰かの為に役に立てる事がとてもうれしいことだと感じました。

パートナー募集

募集締め切り

7/22(日)

活動日程

■街頭募金活動(予定)
6/30(土)～7/29(日)
■準備・運営
8/3(金)～8/5(日)

■仙台七夕花火祭当日
8/5(日) ※昼・夕食あり
■早朝清掃・後片付け
8/6(月)

※詳細は決まり次第別途ご連絡します。

お問合せ

公益社団法人仙台青年会議所 七夕花火祭特別委員会
TEL:022-222-9788 FAX:022-222-9786
Mail:hanabi2018partner@gmail.com

申込方法

ホームページの応募フォームからお申し込みください。
<http://www.tanabata-hanabi.jp/>



株式会社 水谷自動車

快適で楽しいカーライフを
トータルサポートいたします。

■事業内容

新車・中古車販売、修理、板金塗装、車検、
保険、高価買取

〒982-0263 仙台市青葉区茂庭字綱木東14-1
TEL.022-346-8231 FAX.022-346-8232
<http://www.mizutanijidosha.com>

営業時間・9:00～19:00 定休日なし

防災都市 仙台 確立事業

学生防災サミット 108万人の思いやりが溢れるまち



事業報告

本事業は、全国的に防災意識が高まる東日本大震災発災前日、当日の2日間にわたり、地域防災事業を推進する学生（仙台市2校、多賀城市1校、神戸市1校、



熊本市2校）にご協力いただき開催いたしました。3月10日では、事業参加学生を対象に震災遺構「荒浜小学校」見学を通じて、震災の風化防止と防災への理解を深めるとともに、震災復興の現状に触れていただきました。また、「防災の取り組みへ対する市民参画」をテーマに、学生対談「3・10防災学生サミット」を開催し、仙台^{まち}の新たな価値として育む防災文化の重要性と現状課題をまとめ、行政とともにメディアを通じて広く発信いたしました。



3月10日に開催した3・10学生防災サミットはテレビ1社、新聞2社で掲載されたことを踏まえ、学生たちが能動的に防災・減災に取り組む姿は、市民の防災・減災に対する取り組みへの参画意識を高める事に寄与できたと考えております。

また、仙台JCIとしましても、各種報道機関・通信社を通じて、仙台JCIが行う防災・減災への取り組みを広く発信し、仙台市民から仙台JCIの運動に対する共感を得ることで、今後の運動の可能性を拡げることができたと考えております。



公益社団法人 仙台青年会議所
思いやり溢れる仙台^{まち}創造会議
議長

木皿 讓司

本事業では、「防災の取り組みへ対する市民参画」をテーマに、地域主体の自主防災を広める活動を行っている学生対談・活動紹介ブースの展開を行う中で、次代を担う学生同士の知識と連携を深める契機といたしました。神戸・熊本などの震災を経験した県外学生と、東日本大震災を経験した県内学生による3・10防災学生サミットでは、震災発災から月日が経ち、各地域の市民意識の現状に関する意見交換から、恒久的に必要な土壌や市民意識に対する活発的な議論を交わし、主体として取り組む地域防災の重要性を認識いただくことができました。防災そのものを広める多様な機会に対し、市民一人ひとりが参画する意識を高める運動はこれからも必要です。私たちは、本年の事業経験や、震災を経験した地域としての経験や知見を活かし、仙台の防災文化を確立し、全国の防災意識の向上から、防災環境都市として仙台^{まち}を発展に導いていくことが肝要です。

しあわせな黄色いハンカチプロジェクト

我々仙台青年会議所は、外から一目で安否確認ができる黄色いハンカチを広める運動を行っております。

仙台のみならず国内外へこの運動を広げていき、

防災意識が高く、思いやりに溢れたまちにしていくためのプロジェクトとして行います。

事業紹介 思いやり溢れる^{まち}仙台創造会議

写真：仙台市立宮城野小学校開催の様子



▶ しあわせな黄色いハンカチプロジェクト 事業概要 開催期間：2018年06月～10月(市内小学校6校)

本年度しあわせな黄色いハンカチプロジェクトは、小学校を中心とする地域一帯で取り組むひとつづくり・地域づくりの重要性を広く伝え、地域発展に必要不可欠となる持続可能なコミュニティロールモデルを確立する防災プロジェクトとして、仙台市内小学校を訪問し、教育事業とセミナー事業を並行して展開しております。

事業1 しあわせな黄色いハンカチスクール

(対象：開催各校に通う小学生)

事業参加児童の防災における自助・共助の精神を育むとともに、事業協力をいただく大学生に震災の経験や知見を次世代へ語り継ぐ責任と重要性を認識するプログラムを展開しております。また、開催各校において、黄色いハンカチリレーを展開し、スクールを受講する児童はもとより、児童全体の防災に対する理解と関心を深め、防災意識と災害対応力の向上を促しております。

事業2 地域防災コミュニティ創造セミナー

(対象：開催校における近隣町内会及び、父母会関係者)

防災ツール黄色いハンカチを用い、自主防災・地域防災の推進に成功事例を持つ団体・地域を講師としてお招きし、防災を観点に地域発展に必要不可欠となる「ひとつづくり」「地域づくり」についてご講演いただくとともに、震災を経験した我々だからこそ伝えることが可能な、地域防災コミュニティの重要性をまとめ、仙台市内はもとより全国への共有・発信する意義を提唱しております。



▲自助・共助・公助を学ぶ「仙台JC防災ワークショップ」



▲仙台JCメンバーと東北福祉大学学生による防災授業



▲町内会・父母会関係者が参加する地域防災セミナー

※詳細はホームページをご覧ください。

主催



Junior Chamber International Sendai
公益社団法人 仙台青年会議所

問合せ

公益社団法人 仙台青年会議所 思いやり溢れる^{まち}仙台創造会議

TEL：022-222-9788 受付時間：午前9時～午後5時(土日・祝日除く)

後援

宮城県／仙台市／仙台市教育委員会／仙台商工会議所／河北新報社／NHK仙台放送局／TBC東北放送／仙台放送／エフエムテレビ
KHB東日本放送／エフエム仙台／S-style／仙台リビング新聞社／読売新聞東北総局／日本経済新聞社仙台支局／東北電力株式会社宮城支店／CMTV
一般社団法人東北地域づくり協会

本事業は、一般社団法人東北地域づくり協会みちのく国づくり支援事業の支援により実施しています。

協力

東北大学／東北福祉大学／鉤取ニュータウン町内会／減災ポケット『結』プロジェクト

対象
事業開催校
児童

しあわせな黄色いハンカチスクール

今日からキミも防災士！
みんなで学ぼう地域防災

3つのステップで楽しく防災について学ぼう！

- STEP1** 学 ぶ (セミナープログラム)
- STEP2** 考 える (ワークショッププログラム)
- STEP3** 知 る (しあわせな黄色いハンカチプロジェクト)



協 力：東北大学 災害科学国際研究所 / 東北福祉大学 Team Bousaisi

対象
事業開催校
保護者の皆様
地域町内会
関係者

地域防災コミュニティ創造セミナー

防災ツール黄色いハンカチを用い、自主防災・地域防災の推進に成功事例を持つ有識者を講師としてお招きし、防災を観点に、地域発展に必要不可欠となる「ひとづくり」「地域づくり」に関するご講演をいただきます。

第1部 テーマ：防災ひとづくり

後世に継承する減災「大人が教えたい事から子どもが学びたい事を伝える」



<講師>
減災ポケット「結」プロジェクト
保田 真理 氏
東北大学 災害科学国際研究所
地震津波リスク評価寄附研究部門
プロジェクト講師 (防災士)
減災教育事業「減災ポケット「結」プロジェクト」の監修実績をもととする「防災ひとづくり」を実践・継続する事の重要性と、子どもたちが学びたい事を自ら考える防災教育の在り方を提唱します。



第2部 テーマ：防災地域づくり

地域の未来を創る「地域防災コミュニティ」

<講師>
鉤取ニュータウン町内会 顧問
京谷 国雄 氏

災害時に地域を守るコミュニティを確立することの重要性を教示するとともに、災害対応意識や防災対応策の共有をもととする、地域コミュニティの形成及び、発展に関する成功事例を紹介します。



※講演プログラムは、講師スケジュールの都合により変更となる場合があります。

しあわせな黄色いハンカチリレー

事業を開催する小学校にて黄色い布を回収しております。
期 間：2018年10月迄



みなさんから集めた黄色い布がハンカチに生まれ変わります！



災害発生時 黄色いハンカチの使い方



救助が必要な人を早く見つけるために。迅速な安否確認が助かる命を救います。



屋内ゴルフ練習場

INDOOR GOLF SALON 31

ビッグブライトネス

平日・土曜 8時～22時 / 日曜・祝日 8時～21時
TEL：022-384-5505

第3回例会「創立例会」

2018
3.15
thu

3月15日に第67回創立例会が開催されました。本年の創立例会は2部構成にて開催されました。第1部では元東北楽天ゴールデンイーグルスの山崎武司氏をお招きし、第67代理事長熱海秀宗君とのクロストークを行いました。66年にわたり連綿と受け継がれてきた仙台J.Cの歴史を継承していくうえで、球団の創設メンバーとして、新設チームをけん引し、チームの新たな歴史を創ってこられた山崎氏のご経験をお話いただきました。第2部では祝賀会を行いました。本年は特別委員の席次を抽選にて決定するという新たな試みを行い、特別会員、現役メンバーともに例年とは違った雰囲気懇親を深めていただきました。



第4回例会(4月公開例会)

仙台活性化インベシヨ〜地域活性化のカギはインバウンドにあり〜

4月14日に仙台迎賓館 斎苑にて開催し、メンバーと一般市民約170名の方々にご来場いただきました。第1部では「仙台のおもてなし戦略〜地域を活性化する連携の力〜」とし、一般社団法人日本インバウンド連合会理事長の中村好明氏によるメインフォーラムを行いました。第2部では「グローバルホスピタリティ〜訪日外国人旅行がまた訪れたいくなるまちづくり〜」とし、仙台市文化観光局長の天野元氏、仙台市中心部商店街活性化協議会 事務局長の石井光二氏、株式会社仙台放送 海外プロモーション事業プロデューサーの Jessica Hallam氏の4名をパネリストとしてお迎えし、中村好明氏のコーディネートによるトークセッションを行いました。

2018
4.14
sat



仮会員セミナーI

2018
5.12
sat

5月12日(土)仙台市福祉プラザにて仮会員セミナーIが開催されました。プログラムIでは、J.C経験が豊富な現役メンバーとして副理事長・高橋進伍君にご講演いただきました。講演を通してJ.Cの基礎知識、J.A.Y.C.E.Eとしての心構えやJ.C活動を行うために重要な要素を仮会員の皆様に学んでいただきました。プログラムIIではプログラムIの理解度テストを会員室室長 佐々木正寿君司会のもと行いました。また、プログラムIIIでは地域の抱える課題に関するグループディスカッションを4塾に分けて行い、仮会員セミナーIIのプレゼンテーションへ向けて塾毎に課題テーマの選定を行いました。本年は43名の仮会員が誕生し、7月に行われるバッジ授与式に向けて研鑽を重ねております。



第5回例会

「想像力を磨け〜Let'sインプロシキング〜」

5月15日にエルパーク仙台にて第5回例会が開催されました。本例会では、株式会社インプロジャパンの池上奈生美氏を講師としてお招きし、想像力を高め、相手を思いやるコミュニケーションの向上をテーマにご講演いただきました。とともに、参加したメンバーは「インプロゲーム」を通じて想像力がコミュニケーションにどのように影響するかを体験しました。相手の立場で物事を考える重要性を認識すると同時に組織の連帯感を強化するためには、想像力を高めることが必要であることを学びました。また、仮会員にとつてはじめての例会でしたが、体験型の「インプロゲーム」を通じて会員同士が積極的に交流することができました。

2018
5.15
tue



犬飼健郎法律事務所

主な取扱業務

- 不動産関係(賃貸・売買・管理・建築関係訴訟)
- 離婚 ● 相続 ● 借金問題(破産・任意整理)
- 会社関係(取引関係訴訟・債権回収・紛争予防法務)

〒980-0811
仙台市青葉区一番町 2-10-26 旭開発ビル202号
TEL 022-262-5525 FAX 022-262-5526

第34回仙台・青葉まつり 自主警備



2018
5.19~20
sat・sun

5月19日と20日の2日間にわたり第34回仙台・青葉まつりが仙台・青葉まつり協賛会の主催のもと開催されました。仙台三大まつりの1つとして、本年も心待ちにしていた多くの市民ならびに観光客にご来場いただきました。初日の宵まつりでは定禅寺通りを埋め尽くす山鉦とすずめ踊りの共演が幻想的かつ熱気あふれる風景を創り出しました。2日目は、東二番丁通りから定禅寺通りを時代行列・すずめ踊りの大流しが練り歩き、本まつりが盛大に開催されました。多くの市民と行政・企業が協力して行われる仙台・青葉まつりが安全かつ盛大に開催されることは、「まちづくり」に重要な意義を持つと考え、仙台JCIも2日間にわたり自主警備を実施いたしました。

JCIーアジア太平洋地域会議 鹿児島大会



2018
5.24~27
thu~sun

5月24日〜27日にJCIーアジア太平洋地域会議 鹿児島大会2018が開催されました。仙台JCIから多くのメンバーが鹿児島島の地を訪れ、アジア太平洋地域のメンバーと交流を深めました。26日には姉妹JCIであるパラニャーケパンバトJCI(フィリピン)と交流会を行い、親睦を深めることができました。また、同日開催されたジャパンナイトでは仙台JCIブースとして『伊達のずんだ屋さん』を出展し、500名以上の海外JCIメンバーにご来場いただき、JCI会頭 マーク・ブライアン・リム君、日本JCI会頭 池田 祥護君にもご来場いただきました。各地域のメンバーやアジア太平洋地域のメンバーに仙台の新たな魅力を発信することができました。

第6回例会「JCI X 4つの機会」



2018
6.14
thu

6月14日に第6回例会「JCI X 4つの機会」(JAYCEEが学ぶべき仙台的未来ビジョン)が開催されました。本例会は、我々仙台JCIが統一意志のもと行動を起こす機運を高めることを目的として開催いたしました。2011年にJCI会頭を務められた原田憲太郎先輩によるご講演により、JCIの独自性とネットワークを活かした地域発展に対する認識を深めることができました。総じて、仙台JCIメンバー一人ひとりとって、「しあわせを共感できる仙台的実現」に向けて、持続的な仙台的発展を牽引する責務があることを改めてご認識いただくと同時に、JCIが行う大会・事業が地域に与える経済的・社会的波及効果に対する認識を深める機会となりました。

仮会員セミナーⅡ



2018
6.16
sat

6月16日(土) 仮会員セミナーⅡでは、模擬理事会を開催させていただきました。仮会員が仮会員セミナーⅠから背景・目的・手法について筋道を立てて事業構築を行いセミナーⅡで上程することで、多くの学びを得ることができました。また、理事会構成メンバーからの質問・意見は仮会員セミナーⅢへと繋がる非常に建設的なものであり、より良い事業構築のために修正を行ったうえで次回仮会員セミナーⅢで上程いたします。また、午後から開催のJCI公式プログラムを仮会員が受講することで、JAYCEEとしての視点や考え方を学ぶとともに、今後の活動に対する気概や覚悟を醸成することができたと感じております。

早期発見で未来が変わる。

完全予約制

PET/CTで全身の「がん」を診断



Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	P1コース	P2コース	P3コース	Mコース
PET/CT 検診	PET/CT 人間 ドック	PET/CT がん 検診	PET/CT ・MRI 検診	当日 結果説明 付き	免疫力 判定検査 付き	PEM 付き ※女性のみ	MRI 人間 ドック
約3時間	約3.5時間	約3.5時間	約5時間	約6.5時間	約6時間	約6.5時間	約2時間
75,600円 ^{税別}	86,400円 ^{税別}	103,140円 ^{税別}	151,740円 ^{税別}	194,400円 ^{税別}	183,600円 ^{税別}	194,400円 ^{税別}	54,000円 ^{税別}

土・日・祝日も受診いただけます。



☎ 0120-865-750
インターネットからのご予約も承ります
<http://www.micjapan.or.jp/>

MIC 仙台画像検診クリニック
Sendai Medical Imaging Clinic

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目1番25号

飲食業をはじめたいあなたを応援します!!

飲食店経営者の方、またこれから独立開業をお考えの方は
先ず吉岡屋へ相談ください。



株式会社吉岡屋

URBAN 21st OASYS

株式会社吉岡屋

検索

仙台酒屋ブログ

検索

お酒のこと、飲食物件のことなら、何でも相談ください!!

宮城県仙台市青葉区栗生5-3-3

TEL (022) 392-1611

SHOOTING & DARTS BAR
ZERO

Special Price

飲み撃ち放題 ¥4,000

ACCESS MAP

HP
<http://www.shooting-zero.net>

facebook
<https://www.facebook.com/#!/ShootingDarts-Bar-ZERO-198429897186401/>

Twitter
<https://twitter.com/zero201606?s=06>

Shooting&DartsBar
ZERO
〒980-0811
仙台市青葉区一番町4-5-7
シエロー一番町4丁目ビル地下1階
TEL: 022-796-0668

【Open time】
月～土・・・7:00pm～5:00am
日・・・・・・・7:00pm～3:00am



横丁盛り上げ隊

in 壺式参横丁 & 仙台文化横丁

Welcome to Sendai プロジェクト始動!

本事業は、インバウンドの需要で地域経済を活性化させるために、来仙意識向上に繋がる魅力的な観光地域をインバウンドへの取り組みがあまりできていない横丁をモデルに、行政や関係団体と連携し、市民・横丁事業者・外国人・仙台JCメンバーが協働しながら受け入れ環境の整備や発信に取り組

み、新たなコミュニティを創出していくことで、地域資源の可能性を高め、能動的に取り組む市民の輪を広げてまいります。また本事業を地域活性化パッケージにすることで、継続的に他地域でも同様の市民運動を起こせるモデルを構築してまいります。



仙台には数多くの横丁が存在し、その歴史は 1925 年から続いている場所もあり仙台の街並みが変わりゆく中で、昔ながらのレトロな雰囲気が残る、地域に根差した魅力的な地域資源です。2つの横丁は隣接しており、仙台で最大の横丁街です。仙台を訪れる外国人の約半数が利用する仙台駅の周辺エリア内に位置し、商店街や市内ホテルからも近く、雑貨と飲食が混在し横丁らしさを感じることができるのにも関わらず、インバウンド対応ができていない状況です。訪日外国人からは、ローカルアトラクションの体験、夜のアクティビティが少ないなどのことがニーズとして挙げられており、夕方から夜にかけての楽しみ方を横丁が提供することで、仙台経済の活性化につながると考えております。

事業説明会並びに接客コミュニケーション向上セミナー

2018年6月10日(日) 13:00～18:00

事業参加者を対象にした、事業説明会と外国人向け接客コミュニケーション向上セミナーを開催。事業者、市民、外国人、仙台JCメンバーで構成されたプロジェクトチームを7チームつくり、仙台市内&横丁散策、課題を導きだすグループディスカッションを実施しました。

【各チームで実施する受け入れ環境整備と発信の一例】

- 【制作物①】〇〇店が教える独自の横丁文化&マナーPOP制作
- 【制作物②】おススメメニューの多言語化
- 【制作物③】店の売りを店頭に表示する手書きPOP
- 【制作物④】独自のフェイスブック投稿記事の作成と発信 など



各プロジェクトチームによる横丁現場探検会

第1回 2018年6月中にチームごと実施

第2回 2018年7月中にチームごと実施

ディスカッションで作成したツールをもとに、事業者店舗にて実体験研修を行い、検証と改善を繰り返すことでまた訪れたい魅力ある横丁へとより進化させていきます。

プロジェクト発信

2018年8月1日(水)～

発信する一例として

- 【発信①】訪日外国人おもてなしツール「Welcome to ●●」ステッカー
- 【発信②】「Welcome to Sendai～仙台市民&外国人イチオシの横丁魅力～」として、独自のフェイスブックページを立ちあげます。
- 【発信③】行政、民間企業と連携した発信を行います。

第11回公開例会

2018年11月17日(土)

事業の検証とさらなる発信を行います。

地域活性パッケージ化資料策定

2018年11月25日(日)

継続的かつ他地域でも同様の取り組みが行えるよう、事業のパッケージ化を行ってまいります。



Sendai 協力店特集



きちや

☎022-398-8384

定休日 日・祝

営業時間 11:30~15:00
17:30~ラスト
※なくなり次第終了



居酒屋チエ

☎090-6788-8553

定休日 日・祝

営業時間 11:00~14:00
16:00~24:00



文ちゃんうどん

☎022-266-3285

定休日 土・日・祝

営業時間 11:00~15:00(昼の部)
17:00~21:00(夜の部)



第1 ススキノ

☎022-227-8066

定休日 無休

営業時間 [平 日] 11:00~15:00
17:00~21:00
[土・日・祝] 11:00~17:00



居酒屋 2代目

☎022-722-2627

定休日 不定休

営業時間 17:00~24:00



Ethnic BAR HUSH

☎080-1800-7944

定休日 火曜

営業時間 18:00~翌1:00
※日曜営業



居酒屋どんちゃん

☎090-5236-9423

定休日 日・祝

営業時間 11:30~14:00
17:30~23:00



鳥よし

☎022-223-5356

定休日 日曜

営業時間 17:30~23:00



LAG PUTT [服屋]

☎022-796-4124

定休日 水曜 営業時間 11:00~19:00



さしすせそ

☎090-2842-5995

定休日 火曜

営業時間 [月・水~金] 18:00~23:00
[土・日・祝] 14:00~22:00



ケナリ

☎022-224-9757

定休日 日曜

営業時間 12:00~14:30
17:00~23:00



オリヒメ

☎090-4556-0168

定休日 無休

営業時間 18:30~25:00
(金曜・土曜26:00まで)



文化☆横丁

★ サッポロビール ★

in 言式参横丁 & 仙台文化横丁

Welcome to



旬菜酒場 なんぶ彩葉

☎022-712-7332

定休日 火曜

営業時間 ランチ 11:30~13:30
ディナー 17:00~魂尽きるまで

仙台文化横丁



ワイン食堂 enji

☎022-748-5877

定休日 日曜

営業時間 17:00~

仙台文化横丁

HIGHBURY

☎022-797-3360

定休日 不定休

営業時間 11:30~25:00

仙台文化横丁



Garden

☎022-211-6918

定休日 日・祝

営業時間 [平日] 18:00~23:00
[土] 17:30~22:00

仙台文化横丁



中国料理 廬山

☎022-223-7649

定休日 不定休

営業時間 [平 日] 11:00~14:30
17:00~21:45
[土・日・祝] 11:30~15:00
17:00~20:00

仙台文化横丁



ohana 房

☎022-224-3760

定休日 月曜

営業時間 17:30~24:00

仙台文化横丁

あかし屋

☎022-215-6225

定休日 不定休

営業時間 17:30~24:00

仙台文化横丁



仙台文化横丁

四季の居酒屋 松風

☎022-263-3323

定休日 日曜 ※日月連休の場合
は月曜

営業時間 17:00~24:00



笹屋

☎022-267-3039

定休日 土曜

営業時間 11:00~18:00

言式参横丁



「楽しむ力は世界を救う！」

LINE スタンプ

とびだせ! 杜の都のウンポポくん!




キャンドルナイト 2018

仙台JCは震災から1年が経過した2012年3月11日に、『わたしたちは忘れない～世界中に伝える“ありがとう”～』と題してキャンドルナイトを実施し、世界中からいただいた支援に対する感謝の想いを発信いたしました。この希望の光は、これから復興へ進む道を照らす光となるものでした。それから毎年3月11日に震災の風化防止と防災意識向上を目的に事業を実施してまいりました。毎年約2,500個～4,000個の紙コップに感謝の気持ちを忘れない「ありがとう」や震災の記憶を次世代へ伝えようと様々なメッセージを書いた心のこもった紙コップで大きなキャンドル文字を作り、毎年メッセージを発信してきました。

このメッセージは、開催した年の想いを震災時代にいただいた支援に感謝するとともに、風化防止を全国に、そして全世界に伝えてきました。

私たちはこの事業を市民から市民へと伝えていく仕組み作りをしていくとともに、被災地の枠を超えて国内外へ防災意識の向上を促すことが必要であると考えて活動してまいりました。

キャンドルナイト開催から7年目を迎えた今年から、この事業を毎年ボランティアで共に活動してくれていた高校生連携協議会にバトンを渡し高校生らが主体の実行委員会で企画、実施して行くことになりました。

キャンドルナイト2018では「むすび」のキャンドル文字を発信し震災の記憶を次世代へ傳承しようと、ろうそくを入れた紙コップ約2,000個に灯をともし、復興に向けて祈りをささげました。



2018

むすび ～未来へつなげる傳承の輪～

「次代を担う子どもたちが中心となり、震災を経験した子どもたちが鎮魂、感謝、震災の風化防止、防災・減災意識の向上に向けて傳承し力強い活動をいたします。」



2012

ありがとう ～世界中に伝える “ありがとう”～

世界中からいただいた支援に対する感謝の想いとキャンドルの灯は希望の光で、これから復興へ進む道を照らす光を発信いたしました。



2013

かがやけ仙台 ～震災の記憶を胸に～

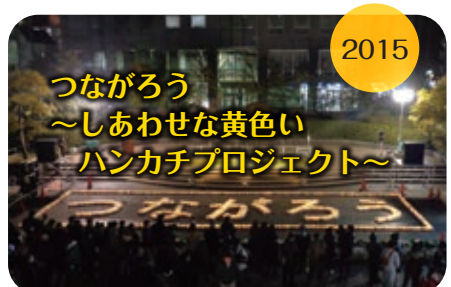
市民の方々がゆめを描き、新たな希望を抱くことで復興に寄与し、新たなまちの創造を、市民や全国の方々に『かがやけ仙台』を合言葉に市民の皆様が『ゆめ』を紙コップに描き、キャンドルの炎にのせて発信いたしました。



2014

しあわせ ～しあわせな黄色い ハンカチプロジェクト～

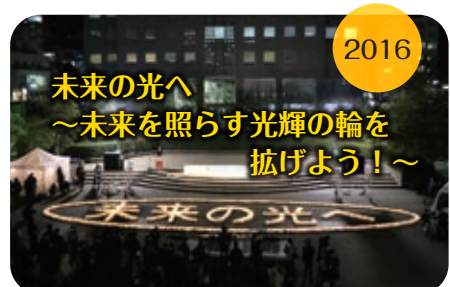
あの時の互いを想いやる気持ちや人と人の繋がりを今一度構築することが「しあわせな仙台」の実現に繋がりを震災を乗り越え、これからの仙台がしあわせになっていくことを祈願するために黄色いハンカチプロジェクトが開始された年になりました。



2015

つながろう ～しあわせな黄色い ハンカチプロジェクト～

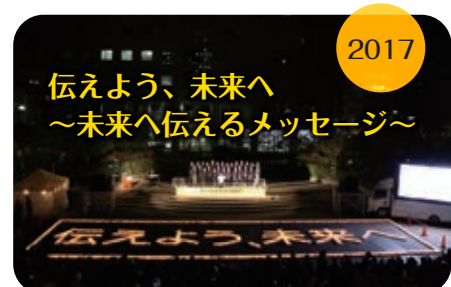
震災のときに強く感じた地域との繋がりをより深め、お互いに支え助け合うことの大切さを伝えていくために、[伝えることが思いやり]を合言葉に、3月11日は「思いやりの日」にしていこうという趣旨のもと開催いたしました。



2016

未来の光へ ～未来を照らす光輝の輪を 拡げよう！～

被災地の方々は、一日でも早い復興に向けて明るい未来を思い描いておられます。私たちはこのまちの光り輝く未来を思い描きました。例年、キャンドル文字のまわりの枠は長方形でしたが、光輝の輪を拡げようという意味を込めて、輪としました。



2017

伝えよう、未来へ ～未来へ伝えるメッセージ～

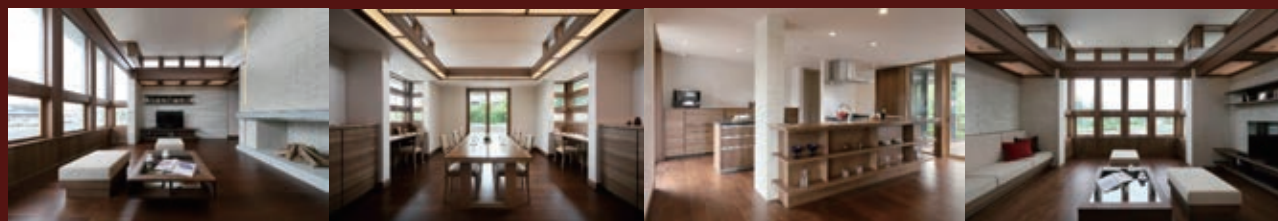
私たちだから伝えることのできる防災や減災意識、そしてあの日を風化しないよう、させないように10年、20年その先の未来に向けて伝えるという想いを乗せました。



キャンドルナイト実行委員長
高校生連携協議会 会長
伊藤 舞衣

東日本大震災から早くも7年の月日が経ちました。この7年目という節目の年に仙台JCが主催として行ってきたこのキャンドルナイトを私たち高校生連携協議会が今までの想いを引き継ぎ企画・運営をすることになり貴重な経験をさせていただいています。このキャンドルナイトに携わって改めて東日本大震災に向き合い被災地域である女川町を訪れ、お話を聞いてきました。女川町では町民の10人に1人が亡くなり、人口に対する死者・行方不明者の割合が最も多かった町です。語り部さんの話で私が最も胸に残った出来事は、最初に震災から復興に向き合ったのは子供たちだったということです。子供たちが復興に歩んでいこうと動き出したことで、大人もいつまでも悲しんでいるのではなく、「今を生きている子供たちのために前に立ち上がっていった」とおっしゃっていました。また、これからの女川町を担う

若い世代が中心に復興を進めているというお話を聞き私たちができることは、日々の生活に東日本大震災の片鱗を見る人が減り続ける中、震災を経験した世代だけが復興に向かって動きかけるのではなく1000年に1度の大震災の教訓を後世に伝え、同じような悲劇を繰り返さないよう、震災を経験していない他の地域の方々や若い世代にキャンドルナイトを通じて発信し風化防止や防災意識を高めていくことです。震災を経験した大人たちだけが活動しても風化してしまいます。若い私たちも一緒に活動をし、学ぶことで次の世代に震災の教訓を伝えていき防災意識の高い地域コミュニティーを広げて行けると思います。キャンドルナイトをきっかけとして主体的に活動する人が増えることで、震災を経験したからこそ伝えられることを後世や他の地域に伝えていきたいです。



皆さんこんにちは、(株)八重樫工務店です。

私たちは、近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトが提唱した「有機的建築」の思想を継承し、その有機的建築のデザイン、設計、仕様コードを活かした「世代を越えて住み継がれる、住み心地の良い家」を、正式なアメリカとのライセンス契約に基づき展開しています。



オーガニックハウス。仙台中央店

株式会社 八重樫工務店
 〒981-3203
 宮城県仙台市泉区高森5丁目23-5
 ☎0120-954-959
 http://www.organichouse-miyagi.jp



いま
 現在の暮らしをもっと快適に。
 リフォームするなら、今。

創業から大切にしているポリシーを胸に、
 お客様に合わせた設計からお引き渡しまで、創意工夫を最後までおしまない家づくり

八重樫工務店グループ

たいせつな想いを かたちに
 次世代へ 木造建築の専門集団

株式会社 やえがし工務店

本社/〒989-1245 宮城県栗田郡大河原町字新南20-5 1F TEL 0224-52-8222
 仙台店/〒982-0832 宮城県仙台市太白区八木山緑町 8-40 TEL 022-305-1181



ONO LEASE

小野リース株式会社

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-1-26
 TEL.022-288-5534 FAX.022-288-5237

建設機械器具レンタル・販売
 中古建設機械買取販売
 イベント用品・事務用品
 技能講習・特別教育
 自動車整備・販売
 AED

お気軽にお問い合わせください



JCコミュニケーション推進委員会

- | | |
|-------------|------------|
| ■委員長 豊川 義仁 | ■委員 佐藤 生 |
| ■副委員長 古関 貞義 | ■委員 高橋 洋人 |
| ■副委員長 高橋 太 | ■委員 千葉 智久 |
| ■幹事 伊藤 賢太郎 | ■委員 長嶋 利幸 |
| ■幹事 小野 洋平 | ■委員 永野 健太 |
| ■幹事 鈴木 泰臣 | ■委員 松谷 威一朗 |
| ■委員 新井 洋平 | ■委員 松良 基広 |
| ■委員 櫻木 亮平 | ■委員 万城目 篤志 |

ご協力とご支援をいただきました多くのお客様に心から感謝を申し上げます。

Public Relations Magazine NOZOMI★

編 集 後 記

公益社団法人 仙台青年会議所 広報誌「のぞみ」をご覧いただきましてありがとうございます。2018年度仙台JCは「IMAGINATION」思いやり溢れる仙台的創造」をスローガンに活動を展開しております。今回の「のぞみ」No.420では主に仙台JCが活動した上期事業の報告をさせていただきます。『キヤンドルナイト』や「防災学生サミット」の実施、年間を通じて発信している「しあわせな黄色いハンカチプロジェクト」、インバウンド事業である「Welcome to Sendai」、これから開催される「第49回仙台七夕花火祭」など多くの事業を発信させていただきました。今回ご紹介させていただきました事業も含めまして、私たち仙台JCは、市民の皆様のご協力のもとで様々な事業を展開しており、今後も多くの事業を通じて市民の皆様と共に仙台的創造に向けて活動し地域に広く発信していきたいと考えております。広報誌「のぞみ」を発行するにあたりご協力とご支援をいただきました多くのお客様に心から感謝を申し上げます。



彩り

笑顔が溢れる仙台へ

第49回 仙台七夕花火祭

2018 8/5 日

時間 19:00-20:30
会場 仙台西公園周辺

雨天決行・荒天中止 | [打ち上げ場所] 昨年より北側へ130m移動します

仙台七夕まつり
8/6月・7火・8水
仙台七夕まつり協賛会(事務局/仙台商工会議所)



[主催] **JCI** Junior Chamber International Sendai
公益社団法人 仙台青年会議所

[共催] 仙台七夕まつり協賛会 [協力] 国立大学法人 東北大学

[後援] 宮城県 / 仙台市 / 仙台商工会議所 / 公益財団法人 仙台観光国際協会 / 七十七銀行 / 仙台銀行 / 社の郵便局 / 河北新報社 / @仙台放送局 / TBC東北放送 / 仙台放送 / NHK仙台 / NHK東北 / NHK東日本放送 / エフエム仙台 / S-style / 仙台リビング新聞社 / 読売新聞東北総局 / 朝日新聞仙台総局 / 産経新聞社東北総局 / 日本経済新聞社仙台支局 / 毎日新聞仙台支局 / cmtv / J-COM仙台キャベツ / 仙台赤十字病院 / 東北電力(株)宮城支店

[8/5(日)当日] 西公園周辺でスマホへのバナー広告配信!

クリックしてね!

第49回仙台七夕花火祭

七夕花火祭 検索
tanabata-hanabi.jp

お問合せ TEL:022-222-9788
Mail:2018sendaihanabi@gmail.com

仙台七夕花火祭
LINEアカウント
友だち追加QRコード
Supported by bole